

ONKYO IE-FBK



ワイヤレスステレオヘッドホン 取扱説明書

このたびは、オンキョー製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。ご使用前にこの「取扱説明書」を最後までよくお読みのうえ、「安全上のご注意」に従い正しくお使いください。お読みになったあとは、大切に保管してください。

はじめにお読みください。

本書には、スタートアップに必要な内容や操作について記載しています。さらに詳しい使いかたについては、Webサイトに掲載の取扱説明書をお読みください。

商品紹介ページ



<https://www.jp.onkyo.com/audiovisual/headphone/iefbk/index.htm>

URLまたはこちらのコードからWEBサイトへ移動してください。

取扱説明書掲載ページ



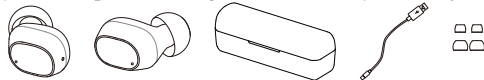
<https://www.jp.onkyo.com/support/audiovisual/download/manual.htm>

URLまたはこちらのコードからWEBサイトへ移動し、「ご利用上の条件」を同意いただいたのち、「G-N」のタブから「IE-FBK」を選択してください。

1. 部品の構成

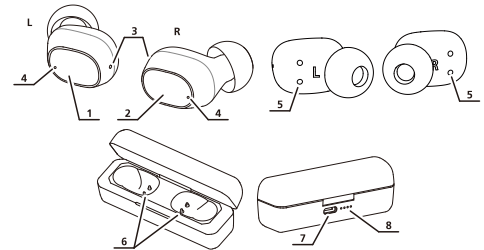
本製品をお使いになる前に、すべて揃っているか確かめてください。

- イヤホン L 側 (ホスト)
- イヤホン R 側 (サブ)
- 充電ケース
- TYPE-C USB ケーブル
- イヤホンチップ S、L 各2個 (Mサイズは工場出荷時に本体に取付け)



2. 各部の名称

- L 側 マルチファンクションボタン
- R 側 マルチファンクションボタン
- 本体側 LED インジケータ
- マイク
- 本体側充電端子
- 充電ケース側充電端子
- TYPE-C USB ポート
- 充電ケース側 LED インジケータ



3. イヤホンチップの交換のしかた

<取り付け方>

イヤホンチップのスカート部をイラストのように裏返します。



取り付け部をノズルにしっかり押し込みます。押し込みが不完全ですとイヤホンチップが外れることがありますのでご注意ください。裏返したスカート部を元に戻します。

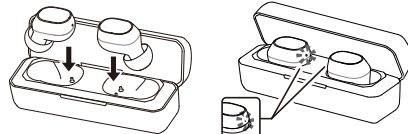
<取り外し方>

イヤホン本体を押しさえイヤホンチップをねじりながら外します。

4. 充電する

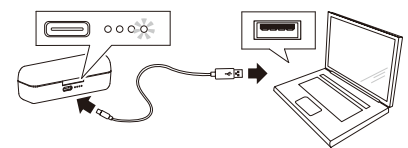
ご使用になる前に、本機を充電する必要があります。充電には付属のTYPE-C USB ケーブルをご使用ください。

- イヤホン (本体) L、R を充電ケースにセットし、本体側の赤色 LED が点灯するのを確認します。赤色 LED が点灯すると本体の充電が始まり、電源は自動で OFF になります。



- 充電ケースを閉め、付属の TYPE-C USB ケーブルを充電ケースに接続し、もう一方の USB プラグをパソコンの USB 端子に接続します。

- ケーブルをさす際は、ケースが開かないように抑えながら端子に対してまっすぐしてください。
- 充電が始まると充電ケース側の白色 LED が点滅します。充電ケースへの充電は約 1.5 時間で完了し、白色 LED が4つ点灯したら満充電です。本体の充電は約 1 時間で完了し、赤色 LED が消灯したら満充電です。



<外出先でイヤホン本体を充電する>

充電ケースには充電式電池が内蔵されています。充電ケースを充電しておく、外出先などで電源がない場合も本体を充電できます。充電ケースが、満充電の場合には約2回の充電が可能です。

ご注意

- 充電温度範囲内 (5 °C ~ 35 °C) で充電を行ってください。
- パソコンが省電力モードになると充電できません。
- 充電中は本体を使用できません。

5. ペアリングする

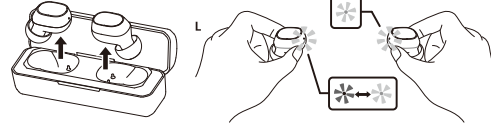
本機で、Bluetooth 機器の音楽を聞いたり通話するには、事前にペアリングを行う必要があります。

ペアリングの方法は、ご使用の Bluetooth 機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

ペアリング操作の前に、一度イヤホン (本体) L、R を充電ケースに入れ、イヤホンの赤色 LED が点灯するのを確認してください。

<本機を初めて使用する場合>

- 充電ケースから L、R のイヤホン (本体) を取り出します。
- イヤホン L 側は LED インジケータが白色と赤色の交互の点滅となり、ペアリングモードに入ります。
 - イヤホン R 側は自動でイヤホン L 側とペアリングし、白色 LED が 5 秒程度の間隔でゆっくりとした 2 回点滅になります。
 - 近くにはほかの接続機器があると、イヤホン L、R のペアリングができない場合があります。
 - イヤホンの LED インジケータの点滅が異なる場合は、「<2 回目以降の Bluetooth 機器とのペアリングする場合>」を行ってください。



- 相手側 Bluetooth 機器の電源を入れてペアリング操作を行い、本機を検索します。
 - 相手側 Bluetooth 機器は、本機の近く (1 m 以内) に置いてください。
 - 本機は、相手側 Bluetooth 機器の画面に「Onkyo IE-FBK」と表示されます。
- 相手側 Bluetooth 機器がペアリングされたことを確認します。
 - 相手側 Bluetooth 機器の画面に表示されている「Onkyo IE-FBK」を選択します。
 - 白色 LED が 5 秒程度の間隔でゆっくりとした 2 回点滅になったらペアリング完了です。

<2 回目以降の Bluetooth 機器とペアリングする場合>

- 充電ケースから L、R のイヤホン (本体) を取り出します。
- イヤホン L、R どちらかのマルチファンクションボタンを、赤色 LED が点灯し消灯するまで押し、電源を切ります。
 - どちらかの本体を操作すると、L、R 両方の電源が切れます。
- イヤホン L 側のマルチファンクションボタンをペアリングモードになるまで押しします。
 - LED インジケータが白色と赤色の LED が交互に点滅した状態が、ペアリングモードです。
 - 交互に点滅したらマルチファンクションボタンを離してください。
- イヤホン R 側のマルチファンクションボタンを白色 LED が点灯、点滅するまで押しします。
 - イヤホン R 側は自動でイヤホン L 側とペアリングし、白色 LED が 5 秒程度の間隔でゆっくりとした 2 回点滅になります。
 - 近くにはほかの接続機器があると、イヤホン L、R のペアリングができない場合があります。

以降は「<本機を初めて使用する場合>」の手順 3、4 を行ってください。

接続がうまくいかない場合や、LED インジケータの点灯・点滅が正しくない場合は、一度本機をリセットしてください。

<リセットのしかた>

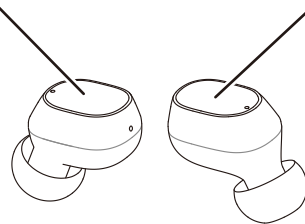
- 充電ケースから L、R のイヤホン (本体) を取り出します。
- イヤホン L、R どちらかのマルチファンクションボタンを、赤色 LED が点灯し、点滅するまで長押しし、電源を切ります。
 - どちらかの本体を操作すると、L、R 両方の電源が切れます。
- イヤホン L、R のマルチファンクションボタンを電源が切れるまで同時に長押しします。
 - イヤホン L、R のボタンを長押しすると、電源が入り、L 側のみ 5 秒程度 白色と赤色の LED が交互に点滅し、その後 L、R ともに白色と赤色の LED が同時に 2 回点滅し電源が切れ、リセット完了です。
 - リセットを行うと、ペアリング情報は消去されますので、お使いの Bluetooth 機器とのペアリングを再度実行してください。

L 側マルチファンクションボタン

- 電源 ON/OFF
- 外音取り込みモード ON/OFF
- 曲戻し
- 音声アシスタント起動
- 着信・通話時
- 受話 / 終話
- 着信拒否

R 側マルチファンクションボタン

- 電源 ON/OFF
- 音楽再生 / 停止
- 曲送り
- 着信・通話時
- 受話 / 終話
- 着信拒否



Bluetooth 機器と接続する

- 充電ケースから L、R のイヤホンを取り出し、相手側 Bluetooth 機器で接続操作をします。充電ケースからイヤホンを取り出すと自動で電源が入り、白色 LED が点滅します。
- 機器によってはペアリング完了後、自動的に接続される場合があります。

Bluetooth 機器との接続を切断する

- イヤホン L、R どちらかのマルチファンクションボタンを、赤色 LED が点滅するまで押し、電源を切ります。どちらかの本体を操作すると、L、R 両方の電源が切れます。

主な仕様

通信方式	Bluetooth 標準規格 Ver. 5.0
出力	Bluetooth 標準規格 Power Class 2
最大通信距離	見通し距離 約 10 m *1
使用周波数帯域	2.4 GHz 帯 (2.4000 GHz ~ 2.4835 GHz) *2
変調方式	FHSS
対応 Bluetooth プロファイル	A2DP、AVRCP、HFP、HSP
対応 CODEC	SBC、AAC
対応コンテンツ保護	SCMS-T 方式
電池持続時間	
・イヤホン本体	連続通信 最大 5 時間 (音楽再生時間含む)
充電時間	
・イヤホン本体	約 1 時間
・充電ケース	約 1.5 時間
電源	3.7 V 内蔵充電式リチウムイオン電池
質量	
・イヤホン本体 (L、R 各)	6 g
・充電ケース	49 g

ヘッドホン

型式	密閉型ダイナミック
使用ユニット	φ 6 mm
再生周波数帯域	20 Hz ~ 20 000 Hz

マイク

型式	MEMS
指向特性	全指向性
周波数特性	100 Hz ~ 10 000 Hz

付属品

TYPE-C USB ケーブル、イヤホンチップ (シリコン) S、L 各 2 個、保証書、取扱説明書 (本書)

- *1 通信距離は目安です。周囲環境により通信距離が変わる場合があります。
- *2 本製品は 2.4 GHz 帯の電波を使用しています。他の 2.4 GHz 帯を使用する無線機器、電子レンジなどの干渉により音声が届かない場合があります。

※上記の仕様および外観は改良のために予告なく変更することがあります。

安全上のご注意

安全に正しくお使いいただくために、必ずお守りください。

- ご使用前に、この「安全上のご注意」と「使用上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
 - お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保存してください。
- この「安全上のご注意」、「使用上のご注意」および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

- 危険** この表示の欄は「人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容」を示しています。
- 警告** この表示の欄は「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。
- 注意** この表示の欄は「人が軽傷を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

絵記号の例

- 記号は禁止（やめてははいけないこと）を示しています。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解表）が描かれています。
- 記号は注意を強制したり指示する内容を示しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

警告

- 異常があった場合は使用を中止する
 - 内部に金属や水などの液体が入ったとき
 - 落下などで本体（外装ケース）が破損したとき
 - 煙や臭い、異音が出たとき
 - 手で触れられないほど熱いときそのまま使うと、火災・感電の原因になりますので、ご相談窓口へお問い合わせください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

本機を布や布団でおおったりつっんだり、ホットカーペットなどの上やコタツの中で使用しない

- 熱がこもり、ケースが変形し、火災の原因となります。

付属以外の USB ケーブルは使わない

- 機器本来の性能が出ないことや、電流容量不足による発熱から火災・感電の原因となることがあります。

風呂場やシャワー室では使用しない

- 火災・感電の原因になります。

自転車、オートバイ、または自動車などの運転中には絶対に使用しない

- 運転中に使用すると、交通事故の原因になります。

踏切や駅のホーム、車道、工事現場など、危険な場所では使用しない

- 周囲の音が聞こえず、不慮の事故の原因となります。

耳を刺激するような大音量での長期間の使用はしない

- 聴力が大きく損なわれる原因になります。

注意

油煙や湯気が当たると、湿気やほこりの多い場所に置かない

- 電気が油分や水、ほこりに伝わり、火災・感電の原因となることがあります。

電源を切る前は音量を下げる

- 電源を入れたとき、突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

電源を入れる時は徐々に音量を上げる

- 電源を入れたとき、突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

USB ケーブルのコードをグルグル巻き付けて使用しない

- 異常発熱により、火災・感電の原因となることがあります。

肌に直接触れる部分に異常を感じたり使用を中止する

- そのまま使用するとかぶれや炎症などの原因になることがあります。医師にご相談ください。

異常に温度が高くなる場所に置かない

- 外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因となることがあります。

- 窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所、ストーブの近くでは特にご注意ください。

本機を使用するときは、音量を上げすぎない

- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力が大きく損なわれる原因になります。

本機に水を入れたり、ぬらさない

- 火災・感電の原因となることがあります。

- 雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

分解・改造しない

- 内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となることがあります。

- 内部の点検・設備・修理は、販売店にご依頼ください。

心臓ペースメーカーをお使いの方は使用しない

- ペースメーカーに影響を与えるおそれがあります。

病院などの医療機関、医療機器の近くでは使用しない

- 機器に影響を与えるおそれがあります。

本機を航空機内で使用する場合は、客室乗務員の指示に従う

- 電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

本機を自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近くで使用しない

- 電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

- 飲み込み恐れのある小さな部品は幼児の手の届くところに置かない
- 万一飲み込んだ場合はただちに医師にご相談ください。

- 周囲の音が聞こえないような大音量で使用しない
- 本製品は周囲の音を聞き取りやすくする外音取り込みモードを搭載していますが、使用の際は周囲の音が聞こえる音量で、安全を確かめながらご使用ください。

使用上のご注意

- 強い力を与えたり、強い衝撃を与えると機器の外観・性能を損ねたり、故障や破損の原因となります。
- 装着の際にイヤホンにゴミなどがついていないか確認してからご使用ください。耳に異物が入るとケガの原因となります。
- マイク内部に汗や水分が入ると故障の原因となります。雨天、降中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。
- バックなどに入れるときは、充電ケースから充電ケーブルを抜いて収納してください。
- 汚れは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。その際にスピーカユニット部に息を吹きかけたりしないでください。
- 充電端子部分を汚れたままにしておくと接触不良を起こし、故障や火災の原因となります。また、端子部分に金属を接触させると、故障や火災の原因となります。時々柔らかい布でから拭き、清潔に保ってください。
- イヤホンケーブルが汚れた場合は本体から外し、うすめた中性洗剤で手洗いしてください。洗浄後は、水気をよく拭いてからご使用ください。
- イヤホンチップとイヤホンパッドは、長期の使用・保存により劣化する恐れがあります。劣化した場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。
- 乾燥した場所では、人体に蓄積された静電気がより耳にビリビリと刺激を感じることがあります。
- 故障の原因となりますので、付属品を本機以外の機器に使用したり、付属品以外のACアダプターやUSBケーブルを本機に使用しないで下さい。
- 充電ケースの開閉時に指などを挟む場合がありますのでご注意ください。特に小さなお子様の取り扱いは十分に注意願います。
- 充電機に充電ケーブルを繋げるとコードが引っ張られ、断線や故障の原因となります。充電ケースは必ずコードを外してから開けてください。

防水機能について

本製品は、JIS C 0920：2003(IEC 60529)「電気機械器具の外郭による保護等級（IPコード）」の「水に対する保護等級」であるIPX5＊相当の防水機能を備えておりますが、水をかけた時、水につけると故障の原因となります。

- ＊1 φ 6.3mm のノズルから 2.5m 離し、12.5 L/min の水量であらゆる方向から最低3分間水流入を受けても本機IPX5としての性能に有害な影響がないレベル（内部の水が入る可能性はあります）

注意事項

- 水洗いをおやめください。故障の原因となります。
- 本機は汗や水が入りにくい構造になっていますが、大量の汗や水に浸されると、内部に入り、故障の原因となることがあります。
- 本機は耐熱・耐湿設計ではありません。サウナなどのご使用や、ヘアードライヤーでの乾燥などはお控えください。
- 寒冷地などでは、水溜が付着したまま放置すると、凍結の恐れがあります。故障の原因となることがありますので、使用後は必ず水滴を拭き取ってください。


電池についてのご注意

電池は使用形態や使用環境、保存状態などによって、液漏れ・破裂・発熱・発火などで、けがや機器故障の原因となることがありますので、下記のご注意事項を必ずお守りください。

- 本機では以下の電池を内蔵しています。
- 充電式電池 専用充電式リチウムイオン電池

- 危険 充電式の電池の液が漏れたときは…**
- 素手で液を触らない
- 液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
- 液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で十分に洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは医師に相談してください。

- 危険 充電式電池について**
- 付属の USB ケーブル以外で充電しない。
- 火の中に入れてはい。分解・加熱しない。
- 火のそばや直射日光の当たるところ・炎下の中車中など、高温になる場所で使用・保管・放置しない。
- ショートさせない。
- 液漏れした電池は使わない。



お願い

使用済み充電式リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。

本製品を廃棄する場合は充電電池の取り外しをお客様自身で行わず、弊社修理受付窓口にご相談ください。

Li-ion00

電波に関するご注意

本機は、2.4 GHzの周波数帯の電波を利用しています。この周波数の電波は、下記①に示すようにいろいろな機器で使用しています。また、お客様に存在がわかりにくい機器として下記②に示すような機器もあります。

- ① 2.4 GHzを使用する主な機器の例
 - ワイヤレスフォン
 - コードレスファクシミリ
 - 電子レンジ
 - 無線 LAN 機器
 - ワイヤレス AV 機器
 - ゲーム機のワイヤレスコントローラー
 - マイク内蔵治療機器類
- ② 存在がわかりにくい 2.4 GHzを使用する主な機器の例
 - 万引き防止システム
 - アマチュア無線機
 - 工場や倉庫などの物流管理システム
 - 鉄道電圧と緊急信号の識別システム

これらの機器と本機を同時に使用すると、電波の干渉により、音がとぎれて雑音のように聞こえたり、音が出なくなることもあります。

受信状況の改善方法としては以下の方法があります。

- 電波が発生している相手機器の電源を切る
- 干渉している機器の距離を離して設置する

次の場所では本機を使用しないでください。ノイズが出たり、送信 / 受信ができなくなる場合があります。

- 2.4 GHzを利用する無線 LAN、または電子レンジなどの機器の磁場、静電気、電波障害が発生するところ。（環境により電波が届かない場合があります）
- ラジオから離してお使いください。（ノイズが出る場合があります）
- テレビにノイズが出た場合、*Bluetooth* 機能搭載機器や本機（および本機対応製品）がテレビ、ビデオ、BS チューナー、CS チューナーなどのアンテナ入力端子に影響を及ぼしている可能性があります。*Bluetooth* 機能搭載機器や本機（および本機対応製品）をアンテナ入力端子から離して設置してください。

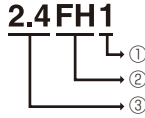
- 電波法に基づく認証について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。したがって、本製品を使用するときに無線局の許可は必要ありません。ただし、以下の行為をすると法律で罰せられることがあります。

- 本機を分解 / 改造すること。
- 本機に印刷されている証明番号を消すこと。
- 周波数について

周波数表示の見方（個装箱 裏面に表示）

- ① 1 想定される干渉距離（約 10 m）を表します
- ② 「FH」 変調方式を表します
- ③ 「2.4」 GHz 帯を使用する無線設備を表します



お客様相談窓口・修理窓口

修理、取り付け、他の製品との接続などに関しては、お買い求めの販売店へお問い合わせください。お買い求めの販売店に修理の依頼ができない場合は、お客様相談窓口へお問い合わせください。

*番号をよくお確かめの上でおかけいただけますようお願いいたします。

> 下記窓口へお問い合わせ時のご注意 >

正確なご相談対応のために折り返しお電話をさせていただくことがございますので、発信者番号の通知にご協力いただけますようお願いいたします。

ご購入 / 操作・取扱のお問い合わせや、故障か判断に迷われたとき、修理（送付修理）のご依頼、お問い合わせは

- 受付窓口 オンキヨーオーディオコールセンター
- 電話番号 050-3161-9555
- 受付時間 10:00 ~ 18:00（土・日・祝日・弊社の定める休日を除きます）

サポートのご案内、オンラインユーザー登録**
<https://www.jp.onkyo.com/support/audivisual/index.htm>
<https://www3.jp.onkyo.com/main/customer/index.aspx>

- ※2 ユーザーの皆様により快適な製品サービスを提供するために、オンラインユーザー登録を行ってください。Eメールによる製品サポート情報や製品関連情報のお届が、ONKYO DIRECT オンラインショップからの情報メールのご案内などのサービスをご利用いただくことができます。

（ご登録いただいたお客様情報は、弊社のサービス以外の目的で使用されることはありません）

ライセンスと商標について

- ・「FULL-BK」は、株式会社LDH apparelの商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- ・*Bluetooth*®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標です。

使用範囲について

通信の環境により伝送距離が短くなる場合があります。次のような場合、電波状態が悪くなったり電波が届かなくなることが原因で、音声をとぎれたり停止したりします。

- 鉄筋コンクリートや金属が使われている壁や床を通して使用する場合。
- 大型の金属製家具の近くなど。
- 人混みの中や、建物障害物の近くなど。
- 2.4 GHzを利用する無線LAN、または電子レンジなどの機器の磁場、静電気、電波障害が発生するところ。
- 集合住宅（アパート・マンションなど）にお住まいで、お隣で使用している電子レンジ設置場所が本機に近い場合。なお、電子レンジは使用していただければ電波干渉はおこりません。

電波の反射について

本機が通信する電波には、直接届く電波（直接波）と、壁や家具、建物などに反射して様々な方向から届く電波（反射波）があります。これにより、障害物と反射物とのさまざまな反射波が発生し、電波状態の良い位置と悪い位置が生じ、音声がかまくまきでなくなることがあります。このような時は、*Bluetooth* 機能搭載機器の場所を少し動かしていただくことがあります。*Bluetooth* 機能搭載機器と本機の間に人間が横切ったり、近づいたりすることによっても、反射波の影響で音が途切れたりすることがあります。

- 注意**
- 本機の影響によって発生した損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 本機は、すべての *Bluetooth* 機能搭載機器との接続動作を保証するものではありません。

安全にお使いいただくために

- 高精度な制御や微弱な信号を扱う電子機器の近くでは使用しない。電子機器に誤動作するなどの影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。
- 航空機や病院などで、使用を禁止された場所では使用しないでください。電子機器や医療用電気機器に影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。医療機関の指示にしたがってください。

ご注意ください電子機器の例

補聴器、ペースメーカー、その他医療用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他自動制御機器など。

ペースメーカー、その他医療用電気機器をご使用される方は、該当の各医療用電気機器メーカーまたは販売業者にて電波による影響についてご確認ください。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに電波の発射を停止しうえ、ご相談窓口にご連絡いただき、混信回避のための処置など（たとえば、パーティションの設置など）についてご相談ください。その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、ご相談窓口へお問い合わせください。

保証とアフターサービス

保証書（別添）について

保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。保証書に販売店名や購入日の記載がない場合は、本製品のご購入の際に受け取られた、購入日が明記されている購入証明書（シート、納品書、受注メールなど）が必要となります。保証書とともに大切に保管してください。

保証期間はご購入日から1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

この製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造日打ち切り後6年です。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

連絡していただきたい内容

- ご住所
- お名前
- お電話番号
- 製品名 / ワイヤレスステレオヘッドホン
- 型番：IE-FBK
- お買い上げ日
- 故障の状況（できるだけ詳しく）

■保証期間中は；

修理に際しては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社の保証規定に基づき修理いたします。

■保証期間が過ぎているときは；

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

令和2年9月現在

記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。

オンキヨー・パイオニア株式会社

〒130-0015 東京都墨田区横綱1丁目10番5号

©2020 オンキヨー&パイオニア株式会社 <44B00002665RP>